



2016年度「連帯社会」連続講座

主催：公益財団法人 日本労働文化財団

連帯社会研究交流センター

参加費無料
要申込

「連帯社会研究交流センター」は、連合、日本労働文化財団、労働者福祉事業団体、生活協同組合が法政大学と連携して設立した修士課程大学院コース「連帯社会インスティテュート」（通称：連合大学院）の支援・連携組織として、連帯社会構築にむけてのさまざまな研究交流の機会を企画・実施しています。

このたび、「連帯社会」に関わる研究者の方々から問題提起をいただき連続講座を企画いたしました。第5回は、水野和夫氏をお招きして、「資本主義の終焉と歴史の危機」というテーマでご講演いただくこととなりました。ご関心のある方々に広くご参加いただきますようお願い申し上げます。

なお、参加申し込み方法につきましては、連帯社会研究交流センター・ウェブサイト上で行なう方法をとらせていただきますので、「イベント・シンポジウム」<<http://recss.jp/event.html>>をご参照ください。

第5回：資本主義の終焉と歴史の危機

日時 2017年2月18日（土）14：30～16：30（14:00開場）

場所 連合会館 4階 402会議室

講師：水野 和夫 氏（法政大学法学部教授）

水野和夫(みずの かずお)氏のプロフィール

法政大学法学部教授。博士（経済学）。1953年、愛知県生まれ。早稲田大学大学院経済学研究科修士課程修了。三菱UFJモルガン・スタンレー証券チーフエコノミストを経て、内閣府大臣官房審議官（経済財政分析担当）、内閣官房内閣審議官（国家戦略室）を歴任。著書に、『100年デフレ』（日本経済新聞社、2003年）、『人々はなぜグローバル経済の本質を見誤るのか』（日本経済新聞出版社、2007年）、『金融大崩壊』（NHK出版・生活人新書、2008年）、『資本主義という謎』（NHK出版・生活人新書、2013年）『世界史の中の資本主義：エネルギー、食料、国家はどうなるか』（東洋経済新報社、2013年）、『資本主義の終焉と歴史の危機』（集英社新書、2014年）ほか多数。



プログラム

* 来聴歓迎 *

14：30～16：00 講演
16：00～16：30 質疑応答

【会場】連合会館 ご案内図

JR 御茶ノ水駅 下車5分
東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅 下車0分

～お問い合わせ～
連帯社会研究交流センター
(ReCSS)
URL: <http://recss.jp>
e-mail: info@recss.jp

